

市施設におけるLED化の推進について

事業概要

環境局地球環境推進室

1 LED化の目的

- 台風19号により市内に甚大な被害が出たことでもわかる通り、気候変動の影響が顕著となっていており、温暖化対策に向けて、市施設の省エネ化及びCO₂削減が急務である。
 - 川崎市地球温暖化対策推進計画では、市施設のエネルギー使用起源のCO₂排出量を令和12年度までに平成25年度比で40%削減することを目標にしている。
 - 水銀灯と蛍光灯器具の製造終了が相次いでおり、今後故障した照明器具の代替製品を取得することができなくなる可能性がある。
 - オフィスビルの電力消費量のうち、照明の消費量が占める割合は24%と大きく、照明の省エネ化は効果的である。
- ⇒ 以上のことから、**照明のLED化に特化した取組を推進**していく。

事業概要

環境局地球環境推進室

2 LED化の基本的な考え方

- 今後、新たに導入する照明については、原則全ての照明をLED（高効率照明）とする。
- 省エネ効果等の最大化及び安全性の確保のため、LED化の際は安定器等の器具ごと交換する。
- 既存施設については、施設更新や大規模改修工事のタイミング等を活用して、効果的な導入を進める。
- LED化を促進するため、**令和2、3年度に環境局主導でモデル事業を実施**する。

市施設におけるLED化の推進について

事業概要

環境局地球環境推進室

3 スケジュール

- 令和2年度、3年度に庁内照明LED化に向けたモデル事業を実施
令和2年度：約10施設（生活環境事業所や学校など）
令和3年度：約40施設（区役所等庁舎、消防施設、市民利用施設、福祉施設など）
のLED化を計画（施設数等は予定）
- 令和4年度以降については、モデル事業の効果検証の上、進め方を検討

4 調達方法

- 市直営工事による調達の他、賃貸借やESCOによる調達方法を検討中

市施設におけるLED化の推進について

ご意見・ご提案をお聴きしたい事項

環境局地球環境推進室

現況

- 令和2年度の調達に向けて、入札に必要な資料を作成中
- 賃貸借などの調達手法について事業者にご相談しながら検討を行っているところである。

ご意見・ご提案をお聴きしたい事項

- 令和3年度に約40施設のLED化を目指しており、複数の施設を一括して導入する手法についてお聞きしたい。（効率的・効果的なグルーピングの仕方など）
- 入札するための資料作成（現況の照明器具一覧の作成など）に苦慮しており、複数の施設の資料を作成するための効率的な手法についてお聞きしたい。